

修了生からの  
お便り



# 「志」を常に高くもって

今から25年前、小学校の先生を目指し、上越教育大学学校教育学部に入學しました。

学部時代は、先生になるために必要な講義を受け、学ぶべきことはしっかり学ぼうと大学生活を送っていましたが、心の中で、「このまま自分が先生になっいいのかわか？」という疑問をもっていました。こんな疑問をもちながらも、4年生になり、立屋敷研究室に在籍しました。学部卒業後も、そのまま、大学院生として上教大に在籍し、研究を続けたのですが、ここで私は研究を通してたくさんすることを学びました。

まずは、研究そのもの。全く知らない世界でした。世界でまだ明らかにされていないことを明らかにしていくことが研究。ある一つの事実を明らかにするために、その基礎となる実験を繰り返して行いました。朝早くから一日中同じ実験を繰り返し行い、再現性を確認しました。このような経験をすることで、物事を表面的にはなく、深く見ることでできるようになりました。

次に、教員として必要なこと。修士論文や博士論文を書くにあたって、たくさん勉強をしました。論文を取り寄せて、

ひたすら読み、わからないことは図書館に通い、調べました。そんな日々を通して学んだことは、得られた情報は鵜呑みにせず、自分で考え、整理することが大切であるということです。また、セミナーでは、自分の研究をどれだけわかりやすく他人に説明できるかを徹底的に学びました。難しいことを難しく言うことは簡単で、難しいことをいかにわかりやすく説明するか、繰り返し練習しました。その中で、わかりやすく説明するためには、自分が本当に理解していないとできないということがわかりました。

そして、朝から夜中まで研究室で実験をしたり、勉強をしたりする日々を通して、先生方とたくさん語り合うことができました。「志」を常に高くもつことの大切さ。それは妥協せず、常に挑戦し続けること。それを実行している先生方の側で学び続けられたことは、私の大きな財産となり、今の私の力となっています。

学部・大学院での学びや数々の実験、セミナー等の経験が毎日の業務の中に活かされています。学部生の頃から出会った多くの先生方のご指導に感謝して、これからも志を高くもって、未来を担う子どもたちの教育に取り組んでいきます。



**渡邊 咲織**  
(わたなべ さおり)

福島県会津若松市出身。平成元年4月上越教育大学入学。平成5年3月卒業。平成5年4月上越教育大学大学院入学。生活・健康系コース、平成7年3月修了。その後1年間、高校で非常勤講師を経験し、平成8年4月兵庫教育大学連合大学院博士課程入学(一期生)。平成12年3月修了、博士(学術)取得。現在、新潟市立青山小学校に勤務し、5年生の学級担任と総合的な学習の時間の主任を担当。

